

相互協力部会の活動について

相互協力部会では、各団体（公共、大学、学校、専門の図書館協議会および公民館連合会）の相互協力を図るため、年2回相互協力部会を開いています。少ない回数ですが、研究テーマを決めて話し合いを行っています。今年度は「岐阜県図書館協会におけるホームページの充実」をテーマに取り上げ、検討を行いました。各委員から様々な意見が寄せられ、これを元に当協会ホームページ（※1）を4月以降に新たに充実させる予定です。

また会議の際には研究テーマ以外に、各団体・各館の情報交換や現状報告をしています。共通する話題は多くありませんが、この情報交換は相互協力の基盤となっています。また館種を越えた各館を理解することで、それぞれの館での運営の参考になる部分も多くあり、この会での活動が少しでも相互協力につながればと考えています。

※1 岐阜県図書館協会のURL

<http://www.library.pref.gifu.jp/library/gitokyo.htm>

または岐阜県図書館HPからMENU→その他→岐阜県関係団体からご覧いただけます。

（岐阜県図書館 木戸 和子）

岐阜県図書館協会

平成16年度 主な事業報告

1. 図書館功労者表彰

平成16年6月17日、岐阜県図書館において、表彰式を開催しました。表彰を受けた方は以下の皆様です。

青木 登	（前北方町立図書館）
飯田 和彦	（美濃加茂市立図書館）
武藤 保	（羽島市立図書館協議会）
石井 正男	（各務原市図書館協議会）
小川 トキ子	（各務原市図書館協議会）
中村 日出子	（多治見高等学校）
高屋 英子	（大垣西高等学校）
太田 聡美	（岐阜市立図書館）
森 伊都子	（海津町図書館）
木戸 和子	（岐阜県図書館）
稲垣 哲久	（岐阜県図書館）
村田 賢二	（揖斐高等学校）
大野 利恵子	（郡上高等学校）
一柳 純子	（関有知高等学校）
野田 由美子	（東海女子大学図書館）

2. 講演会

平成16年6月17日、岐阜県図書館において、中日新聞社取締役編集局長の小出宣昭氏を迎え、「日本のことば」と題した講演を拝聴しました。例年は評議員のみの参加でしたが、今年度は一般参加も募りました。

（参加者 評議員46名 一般参加22名）

3. 図書館活動研究大会

平成16年11月10日、岐阜県図書館において、「図書館における医療・健康情報サービスの可能性を考える」と題し、図書館活動研究大会を開催しました。

◆ 講演

「公共図書館による医学・健康情報サービスの可能性」

柚木 聖 （浦安市立図書館主任司書）

◆ 事例発表

・「岐阜県立看護大学図書館と一般公開」

大坪 洋子 （岐阜県立看護大学図書館司書）

・「理想の病院図書室を目指して」

高田 たみ代 （大垣市民病院図書室司書）

（参加者 77名）

4. 図書館実務講習会

(1) 学校図書館職員

・小中学校部会

平成16年8月17日 岐南町中央公民館

「豊かな心と確かな学びを支える学校図書館

—これからの学校図書館と司書教諭の役割—

（参加者 92名）

・高等学校部会

平成16年10月15日 大垣市サイトピアセンター

「魅力ある読み聞かせの世界 高校生と読書」

講師 志茂田景樹 氏

（参加者 86名）

(2) 図書館職員研修（初級）

平成16年10月7日 岐阜県図書館

（参加者 40名）

5. 資料発行

「岐阜県の図書館 No. 31」 平成17年3月

「会報」（33号） 平成17年3月

6. 会議

評議員会 16年6月17日

理事会 16年5月26日、17年2月23日

相互協力部会 16年9月9日、17年2月2日

岐阜県図書館協会

会報

No. 33

平成17年3月

事務局

〒500-8368

岐阜市宇佐4-2-1

岐阜県図書館内

電話 (058) 275-5111

岐阜県専門図書館協議会の活動

岐阜県専門図書館協議会会長 小山 徹

岐阜県専門図書館協議会は、それぞれの専門分野に特化した図書館を設置している県内の諸機関が、各図書館の運営に関し必要な連携活動を行うことを目的に、昭和49(1971)年に発足しました。発足当時は3機関でした岐阜県専門図書館協議会も、三十有余年にわたる歴史を重ね、現在の加盟機関は9機関(注)となりました。

専門分野に関する貴重な情報や図書資料を収集・保存している私たち専門図書館は、ますます多様化し高度化するニーズに的確に 대응していくために、それぞれの専門分野における多数の情報の中から、その鮮度・精度・価値などを見極める確かな目を持つとともに、常に最新の情報に敏感であることが求められています。そのため、本協議会では、毎年度2回の研修会を持ち回りで開催し、図書館運営に係る情報交換とともに、職員の情報選択能力を高めるよう研鑽を積んでいます。



(注) 岐阜県議会図書室、視覚障害者生活情報センターぎふ、岐阜県総合教育センター図書・教育資料室、岐阜県教育文化財団歴史資料館、内藤記念くすり博物館図書室、岐阜県産業経済振興センター、岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター図書室、岐阜県地方自治大学校ライブラリー、岐阜県研究開発財団科学技術図書館

岐阜県公共図書館協議会の活動状況

○ 市町村合併の進展と図書館

本県でも市町村合併がさらに進み、今年度も(新)恵那市、(新)各務原市、(新)揖斐川町、(新)高山市、(新)関市、(新)中津川市が誕生し、また、海津市なども合併の準備が進められている。これらの新しい自治体では、域内における図書館や公民館図書室等との電算システムの統一や物流網の整備に向けた動きが出てきているが、利用者が合併のメリットを感じることができるような図書館サービス網の充実が望まれている。また、昨年度誕生した飛騨市で新館建設の準備が始まるなど、新たな図書館づくりの胎動も見られる。

合併によって従来とはサービスの対象や方法が変わってくる館もあるが、公共図書館協議会としても積極的な情報収集と共有により、一層のバックアップを進めていきたい。

○ 新館開館

4月、高山市図書館「煥章館(かんしょうかん)」が新規開館した。建物は、1876(明治9)年に「擬洋風」と呼ばれる和洋折衷の様式で建築された小学校「煥章学校」をイメージして建てられており、館内には生涯学習ホールや近代文学館も併設されている。

7月には、瑞穂市図書館の分館が市西部複合センター内に開館した。蔵書の多くが絵本や紙芝居などの子ども向けの資料で、子育て支援、子どもの読書推進を目指している。

○ 館長研修会、職員研究集会の実施 (2月末日現在)

館長研修会は、7月に静岡県細江町立図書館長の伊藤博氏を招き、「今、図書館・図書館員に求められるものは何か—細江町立図書館の最近の動向から—」と題して講演をいただいた。細江町立図書館の数々の実践を通じて「図書館も競争の時代」であり、自己点検や情報公開、住民参加の必要性などを指摘していただいた。

職員研究集会は、10月高山市図書館で開催した。前富士市立西図書館長の山本直親氏に、「図書館の危機管理の現状とそれに対する対応策—起きてしまっただけでは遅すぎる—」というテーマで講義をいただき、日頃からの危機管理の意識や心構えの大切さを学ぶことができた。

(岐阜県公共図書館協議会事務局)

岐阜県大学図書館協議会活動報告

協議会としての主要な活動は、次のとおりである。

運営委員会 (6月15日 岐阜大学)
総会 (7月27日 岐阜経済大学)
研修会 (7月27日 岐阜経済大学)

総会(15館、22名参加)は、例年どおりの会務報告、予算・決算についての審議を行なったほか、各加盟館の現状と当面の課題等についての情報交換会を行なった。

情報交換会では、管理面では書庫の狭隘化、資料費の削減、サービス面では大学間の文献複写、電子ジャーナルの導入・維持等が各館共通の課題として話し合わせ、対応方策について情報を交換した。

大学図書館の場合、国公立の違いや個々の大学の事情もあり共通の解決方法を見出すことは難しいが、それぞれの館の問題解決の大きなヒントを得られ、協議会の活動として意味のあるものになっている。

研修会は、総会に引き続いて、岐阜経済大学のローラン・エリック教授を招いて「カルチャーショック—異文化との出会い」と題した講演会を開催した。図書館業務とは離れたテーマであったが、普段こうした機会が少ないため新鮮で興味深い講演であった。

なお、大学図書館協議会では、研修会として特色ある施設の見学会と講師を招いての講演会を隔年で開催している。

ところで、東海地区では公共図書館と大学図書館との広域的な連携・協力の機運が盛り上がりつつあり、各県の県立図書館と東海地区大学図書館協議会の役員館を中心に協議会も設立された。岐阜県では、県図書館と岐阜大学図書館は相互協力協定を結び、従来よりも一歩踏み込んだ協力体制を築きつつある。

館種を超えた実効性のある協力の実現には様々な問題が立ちはだかっているが、岐阜県大学図書館協議会としても、東海地区全体の動向を視野に入れながら、近い将来の課題として検討する時期に来ていると考えている。

(岐阜県大学図書館協議会事務局)

岐阜県学校図書館協議会の活動と研修

☆第1回研究会及び代表者会

(5月25日 岐南町中央公民館)

活動計画・予算・研究大会の計画などの協議・連絡をすると共に、全国学校図書館協議会より森田盛行氏を招き「学校図書館の現状と課題—子どもの読書活動推進にあたって—」と題して講演をしていただいた。

県下各地区から理事・代表者が集い、子どもの読書や図書館教育の推進について共通理解することができた。

☆職員研修会(夏季ゼミナール)

(8月18日 岐南町中央公民館)

提案「学校図書館現状(仁木小高橋教諭)、全国学校図書館研究大会報告「司書教諭の役割(富岡小二科教諭)、実践報告「司書教諭の活動の実際(小熊小真鍋教諭)を受け、研究討議が行われた。

今年は、12学級以上の学校に司書教諭が配置されて2年目。92名もの参加があり、熱心な意見交流ができた。また、司書教諭の発令や活動の様子を交流することもできた。

☆中部地区学校図書館活用フォーラム

兼第35回岐阜県学校図書館研究大会

(11月29・30日 岐南町立北小学校校舎)

今回は他県からの参加もあり、800名を超えた。1日目は、基調講演「豊かな学びを作るこれからの学校図書館(押上武文教授)と他県の実践報告があり、2日目は、北小学校の授業公開(国語・社会・読書指導)及び研究発表や分科会別実践交流などを行った。

岐阜県の学校図書館教育の成果や実態を知ってもらうよい機会になった。また分科会では熱心な討議がされ県外の方から新たな刺激を受けることもできた。

☆第2回研究会及び代表者会

(2月23日 岐阜市教育研究所)

研究大会・各種コンクールの報告を行うと共に、県教育委員会主催「リサーチ研修」の報告会を行った。

9月に山形県鶴岡市立朝陽小学校(平成15年度学校図書館大賞受賞)を視察し、手作り温かい雰囲気図書館経営や読書や学習に慣れた様子で図書館を活用する子ども達の姿がビデオと共に紹介された。司書教諭・図書主任・学校司書など図書館スタッフの連携も見事になされており、よい学習の機会となった。

(羽島市立小熊小学校 真鍋真里子)

新たな装いでスタート ~子どもたちの心の居場所づくりを~

☆新しい図書室「美濃白川 楽集館」がオープン

小さな中央公民館図書室から、近くの農協ビル2階・3階全フロアに新装移転したのは、平成15年4月23日(子ども読書の日)でした。広さ1015㎡。「こどもの居場所」をキーワードに、おはなしのへや・児童コーナー・AV室・学習室・くつろぎコーナー・ミニ展示コーナーなどが設けられました。又3階には、常設展示「ふるさと白川ゆかりの偉人展」や「明治維新史料室」そして「郷土資料文庫」・「尾崎秀樹記念文庫」や「企画展示室」「会議室」等が配置されています。町では、初めての文化施設です。

☆管理、運営は、中間法人：民間委託方式

*職員…館長を含めて職員4名(臨時・パート)民間で運営

*開館時間…午前9時～午後8時まで

*休館日…第2月曜日・年末年始の6日間

☆「読み聞かせボランティアサークル」と共に

町内には、すべての地区に読み聞かせサークルがあり、保育園・小中学校とも連携して、読み聞かせを通して読書に親しむ活動が活発です。現在11のサークルがあり、約120名が活動しています。サークル活動の拠点としての図書館とし、館内の季節飾りもボランティアの手になるものです。すべてのサークルが図書館での読み聞かせ会に参加し、資料の活用や研修を図っています。要望に応じて、読み聞かせ本や大型絵本、紙芝居などを充実させています。

☆心をつなぐ図書館に

連日、近くの中学生・高校生が放課後來館します。乳児から高校生までの子どもの居場所ができました。そんな子ども達に笑顔であいさつし、時にはしつこく、顔を見合わせて声がけに務めています。子どもを育てる役割を心にとめていきたいと思っています。



(白川町公民館図書室「美濃白川楽集館」 藤井 義孝)